㈱1　平成20年３月31日に主務大臣に認可された第２期中期計画における基本方針を基に区分したものであります。また、国からの運営費交付金等によって賄われる部分を運営費交付金対象、事業収入等の自主財源により、賄われる部分を運営費交付金対象外として表示しております。

（事業区分の変更）

平成20年４月からの第２期中期目標において、「国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」の区分の見直しが行われ、従来の施設利用事業は公演事業の一部として位置づけられたことから、事業区分の見直しを行っております。

①基金事業　　芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動その他の文化の振興又は普及を図るための活動に対する資金の提供等の援助を行う事業。

②公演事業　　劇場施設を設置し、伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演を行うとともに、劇場施設を伝統芸能の保存振興又は現代舞台芸術の振興普及等を目的とする事業の利用に供する事業。

③研修事業　　伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を行う事業。

④調査研究事業　伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究・資料の収集・活用を行う事業。

2　法人共通の費用の主な内訳は、管理部門人件費であります。また、法人共通の資産の主な内訳は、総務部・経理部及び各部事業推進課等に所属する資産及び基金事業以外の現金及び預金であり、土地・建物については事務室面積で按分して算出しております。

3　損益外減価償却相当額、損益外減損損失相当額、引当外賞与見積額及び引当外退職給付増加見積額のセグメント別金額は以下のとおりであります。

（単位：円）

区　　分	基金事業	公演事業	研修事業	調査研究事業	小　　計	法人共通	合　　計
損益外減価償却相当額	75,229	2,829,870,032	47,137,060	113,616,415	2,990,698,736	50,117,411	3,040,816,147
損益外減損損失相当額	0	0	0	0	0	344,000	344,000
引当外賞与見積額	0	△ 13,001,399	△ 1,389,038	△ 2,500,269	△ 16,890,706	△ 3,608,353	△ 20,499,059
引当外退職給付増加見積額	3,032,460	273,545,585	29,224,956	52,604,920	358,407,921	57,931,025	416,338,946

4　第２期中期計画における基本方針に基づいて19年度決算における事業区分セグメント情報を比較対照のため組替えたものは以下のとおりであります。

（単位：円）

区　　分	基金事業	公演事業	研修事業	調査研究事業	小　　計	法人共通	合　　計
運営費交付金対象							
Ⅰ　事業費用							
1　業務費	441,943,615	7,358,847,795	952,608,621	1,238,752,306	9,992,152,337	233,775,260	10,225,927,597
2　一般管理費	—	16,587,134	29,400	50,285	16,666,819	1,101,942,763	1,118,609,582
3　財務費用他	—	13,993,144	—	14,367,255	28,360,399	2,334,248	30,694,647
計	441,943,615	7,389,428,073	952,638,021	1,253,169,846	10,037,179,555	1,338,052,271	11,375,231,826
Ⅱ　事業収益							
1　運営費交付金収益	459,514,273	6,846,984,457	909,546,624	1,230,588,236	9,446,633,590	1,390,971,321	10,837,604,911
2　事業収入	—	—	31,967,070	—	31,967,070	—	31,967,070
3　受託収入	—	—	—	—	—	—	—
4　資産見返負債戻入	—	534,556,099	6,239,244	20,583,419	561,378,762	36,186,262	597,565,024